

ごろうもん せいび 御楼門の整備

Reconstruction of the Goromon Gate

누문의 정비
楼门的整建
樓門的整建

ごろうもん
御楼門は、明治6(1873)年12月の火災によって、本丸の建物とともに焼失してしまいましたが、これを再建しようと、民間の「鶴丸城御楼門復元実行委員会」と鹿児島県は、平成27(2015)年2月に「つるまるじょうごろうもん
鶴丸城御楼門建設協議会」を設立し、令和2(2020)年3月の完成を目指して官民一体となって取組を進めました。

ごろうもん
御楼門建設にあたっては、史実等に基づき実施すると同時にごろうもん
御楼門の礎石などの遺構を保全する取組みや耐震・強度を十分に保つための工夫がなされています。

また、江戸時代の薩摩藩による宝暦治水工事の業績を縁に、鹿児島県と姉妹県盟約を締結している岐阜県から、両県友好の証として岐阜県産のケヤキを提供いただきました。鹿児島県湧水町等からも木材の提供がありました。



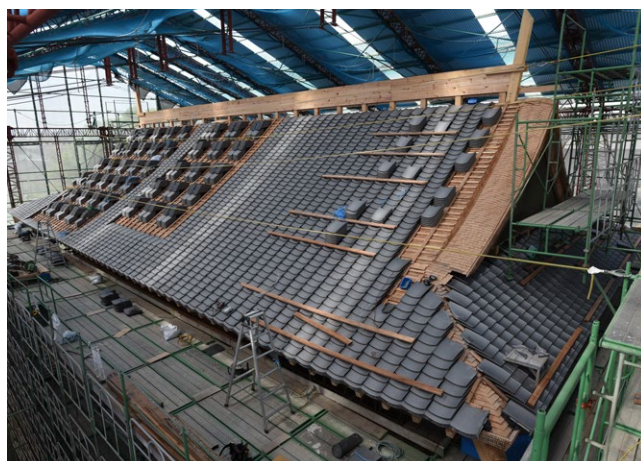
ごろうもん
▲御楼門建造前の姿
(平成30〈2018〉年9月撮影)



ごろうもん
▲現存する御楼門礎石



▲柱の建て方
(令和元〈2019〉年7月撮影)



▲屋根工事
(令和元〈2019〉年10月撮影)